

〔曲名〕 Anime alla Deriva

彷徨える霊

〔曲種〕

〔作曲者〕 Ugo Bottacchiari

ウーゴ ボッタキアーリ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者は1879年3月10日イタリア・マチェラータのカステルライモンドに生まれ、1944年逝いたイタリアの作曲家。

郷土に近いペザロのロッシーニ音楽院でマスカーニの教えを受け、卒業後作曲活動に専念した。

数度の作曲コンクールに入賞して金牌を受けた、オーケストラ曲、吹奏楽曲、室内楽曲、声楽曲、があるが、

中でもジェノヴァ市に捧げられた四楽章の交響楽は最も著名である。

最も名声を高めたのはオペラ「影」で1899年郷土マチェラータもロッシ劇場に於いて初演され大成功を収めたと云う。

マンドリン関係では本邦では交響的前奏曲で親しまれている作者であるが、

出版社がボローニャのコメルリーニ出版社である為に他の作品が余り日本には入ってはいない。

が、前記交響的前奏曲はマンドリン合奏に携わる者いつかはその魅力にとりつかれている者ばかりである。

作者の晩年に当たる1941年シエナで行われたマンドリン楽作曲コンクールに最高入賞した「夢の魅惑」も

マンドリン楽の珠玉で作者は遂にその出版を見ずに逝って了ったのである。

歌劇「影」は亡霊を扱ったもの、イル・ボート（誓）、夢みつゝ等、夢幻的な着想のものが多いのは抱懐するロマンティシズムを披瀝するのには最も恰好なものであったに違いない。

本曲は原曲は管弦楽曲であるが、最低音から徐々に上昇して高揚するロマンの薫りは、かのイル・ボートや交響的前奏曲の手法にそっくりである。

マンドリン古典合奏曲集19集より